

平成 30 年 8 月 5 日

8 月 クラブ集会議事録

1. 集会日 平成 30 年 8 月 2 日 (木) 19 時 30 分～21 時 30 分
2. 出席者 池田会長、宮川、裏野、宮内、山下、山下海、坂本 (記) 7 名出席
3. 議 事

(1) 9 月例会について

- ・ 9 月例会は連休を利用して 2 日間での釣行を予定しており、釣行場所について話し合った。西日本豪雨災害により、岡山県、愛媛県方面への釣行は自粛する旨の意見がまとまり、日本海方面や紀伊半島等の案も出たが、過去に実績のある女木島、男木島方面への釣行で意見がまとまった。詳しくは、9 月集会 (13 日) で決めることとした。

(2) 西日本豪雨災害に伴う災害義援金の徴収について

- ・ 連盟で西日本豪雨災害による義援金 (1 人 1000 円) に協力してほしい旨の連絡があり、クラブとしても協力することになった。クラブ会計より支出 (16 名分 16000 円) することに決まった。

(4) 7 月協会理事会報告 (坂本より)

■第 108 回全日本キス投げ釣り選手権大会の賞品授与

- ・ 我がクラブでは、畑中氏がラッキー賞に当選した。

■全日本キス 結果報告

- ・ 大阪協会の成績は、他魚の部で北斗サーフの福岡さんが優勝、また、本賞 7 位に滋賀投友会の南さんが入賞されました。詳しい成績は連盟 HP をご覧ください。

■協会クラブ混合キス結果報告

- ・ 7 月 1 日、41 名の参加者で開催された。当日、釣具店の大会と併催になったが、事故も無く終わることが出来た。優勝は、M チーム (大阪 S 伊達、大正 S 勝田、東住吉 S 島岡) で合計 108 匹、2 位は K チーム (貝塚 S 野村、アングラーズ 本屋敷、アングラーズ 高山) で合計 75 匹、3 位は H チーム (大阪 S 村上、レインマン S 浜口、アヅ F 清水) で合計 57 匹でした。個人戦では、優勝が伊達で 72 匹、2 位が本屋敷さん 42 匹、3 位が今本さん 38 匹、4 位が長谷川さん 34 匹、5 位が浜口さん 31 匹でした。個人 5 位までの方は、来年の東西 100 人会の出場権が与えられるので、ぜひ参加をお願いします。

■7 月連盟本部役員会・常任理事会報告

- 第 50 回クラブ対抗キスについて、6 月 10 日に開催、好釣果を期待したのですが、海上は大荒れとなり、期待外れの釣果となった。各協会との親睦は図れたと思うが、釣果が良くなかったのはたいへん残念だった。また、毎年のことだが、京丹後市の 3 名の方にはきめ細かなお手伝いをして頂き、感謝を申し上げた。当日、成績発表を行ったが、不手際により 1 チームの成績が反映されていなかったことが判り、成績を訂正した。成績表は、団体の 11 位および個人の 7 位を其々 2 賞とし、連盟にもその旨で報告した。当事者のチームには私の方からお詫びを言い、賞品を追加して発送した。

- 第 108 回全日本キス大会について、全体の成績については各協会に配布している。入賞については、エントリー数の 20% で、本賞 194 位、他魚 49 位となった。また、盾の表彰は入賞の 15% で、本賞 29 位、他魚 7 位となった。副賞は 50 賞で、本賞 40 賞、他魚 10 賞となっている。盾などの賞品については、8 月の理事会で配布できると思う。

- 全日本オープン SC 選手権大会について、PJ は兵庫協会。参加は、11 協会と台湾 1 団体、一般参加者 6 名で、合計 86 名で開催される。集合は旧会場で用具の積み込み後に出発す

る。競技は、6時30分開始となっている。参加される方は注意願います。

- 第41回東西投げ釣り選抜100人の会について、9月1日受付け、2日競技となっている。宿泊地は、伊良湖シーパーク&スパで、後ほど参加者について協議をおこないたいと思うので協力をお願いする。また、今年より少しルール変更が行われ、各ブロックへの誘導は今まで通りだが、ブロック中心より左右に分かれる方法に変わる。審査方法で、東軍、西軍で抽選して頂き、1の方がリーダーとなりブロック毎に集計を行い、リーダーがPJの審査員に報告を行う。詳しい内容については、現在手引きを作成中で、8月理事会にて参加者に配布する予定。
- H30 全日本SC選手権大会について、11月14日に開催される。競技種目は従来通りとなっている。出場基準は、新人賞の事も若干緩和されている。参加記念のポロシャツについては、初参加の方のみに進呈される。参加申し込みは、9月30日迄となっているので、宜しくお願いする。
- 全日本カレイ選手権大会について、PJは連盟本部が行う。後ほど会場申請について聞くので、会場申請があれば宜しくお願いする。
- 事故防止規定の見直しについて、現行の事故防止規定に一部足りない部分や見直しする部分があり、7月28日に小委員会にて審議し、年末の常任理事会で改定内容を発表し、新年総会にて承認を得る運びとなっている。
- 日本記録の認定について、先月の大阪協会記録として承認した、カジカ 実寸60.0cm、拓寸63.0cm サーフ・エトワールノの石黒氏が承認された。
- 釣り場の拡大について、以前に筏での釣魚も大物申請出来るようにという要望があり、大物部で検討しており筏の写真8件を掲載した資料が配布された。筏にも様々なものがあり皆様のご存じの筏等を教えて頂き、協議したいと思う。
- 協会夏季SC通信大会、連盟オープン大会について
- 7月8日に予定していたが、前日までの豪雨により止む無く中止とした。参加費については本日、全クラブに返金する。なお、予備日は設けていないので、今年の夏季SC大会は中止とした。
- 連盟のオープンSC大会については、大阪協会から選手8名、一般参加で3名の申し込みを行っている。昨日の時点で広島会場（公園）が開園され、PJの兵庫協会に確認を行ったところ、開催する予定であると聞いている。ただ、広島の災害状況が把握出来ていないので、連盟長からは100%開催するとは言えないとの返事を頂いており、正式に決まったら、選手の皆様にお伝えする。
- 協会事故防止講習会について
- 8月5日大阪産業創造会館 6F で開催致す。9時30分受付けで、10時から講習会を開催する。今年度から大阪海上保安監部の担当者が代わり、新しく担当される方は以前投げ釣りをやっておられ、全日本サーフのこともよくご存じで、非常に興味を持っておられた。講習内容については、案内に記載した通りで行っていただく。本日、受付けを行っているが、現在24クラブ87名の参加申し込みがあり、本日中午に申し込みが出来なくても当日参加出来るなら、会場に余裕があるので是非とも参加をお願いする。
- 第41回東西投げ釣り100人会について
- 100人会への参加申し込み者について、参加資格のある方に順次出欠を伺い、協議した結果、ほぼ例年並みの選手の参加となった。
- 協会クリーンアップ活動について
- 10月14日午前9時から11時位の間で実施する。国交省の河川事務所および地元振興町会

との協議は整っている。昨年は10月の第1日曜日に実施したため、運動会や地元のイベントと重なり、参加者が前年に比べ約20名程少なくなったが、今年は一人でも多くの方の参加をお願いする。

■第150回 協会秋季大会について

- 大会要項については昨年と同じだが、高知が豪雨により崩壊したと聞いていたが、現在は対面通行になり通行可能となっている模様なので、次回理事会まで高知会場の設定については保留とします。対象魚について意見を聞いたが、特に意見は無かったので、要項通りとする。締切りは9月理事会なので、指定用紙に記載して参加費を添えて申し込みをお願いする。

■第109回 全日本カレイ投げ釣り選手権) 大会について

- 8月10日が会場申請の締切り日となっている。大阪協会は例年会場申請を行っていないが、今年も無いようなので、大阪協会からの会場申請は無しとする。参加費が1300円になっているので間違いの無いようお願いする。

■西日本豪雨災害について

- 冒頭の挨拶でも言ったが、連盟の会員1名が行方不明という事で大変心配している処です。連盟の方でも被害の状況を各協会に聞いているところで、集計等には時間を要する模様です。連盟では、義援金を皆さんにお願いする方向で動いている。大阪協会でも義援金について皆さんにお願いしたいと思っている。義援金は連盟役員で協議し、目安として1人1000円位を考えている。金額をこちらから強制的に決めるものではないが、皆さんのご意見を伺いたいと思う。あくまでも強制ではないので、各クラブに持ち帰って協議をお願いする。

■その他

- 釣り場の中で最近立ち入り禁止区域が多く、釣り場が狭められて来ている。そこで、もう少し釣り場の規定を緩和して何処でも釣りが出来るようにしてはどうか、という意見が挙げられた。連盟の方で解放出来る場所を調査した処、現在禁止されている場所は、①漁業者が設置した作業用筏→漁業者が設置したもので、荷上げ荷降ろし船舶の停船等に使用される筏は禁止となっている。しかし、誰もいない作業用筏では多分皆さん釣りを行っていると思う。②常時停泊している工事用台船→連絡通路にて陸地から徒歩で渡れる場所も禁止となっている。③天然釣り場→四角い枠の中に魚が入れられ釣り場となっている。枠の外、連絡フロートは有料で釣りを出来る所も禁止となっている。チヌ釣り筏は、他の方の迷惑となるのでトラブルとなる可能性がある。④養殖用の筏→主に魚類の養殖に使用する筏で、周囲に歩行可能な場所があるものも禁止となっている。

釣りをしても良い所は、浮き棧橋→階段他陸地と繋がっており、自由に出入りができ、棧橋の四隅は鎖等で海底に固定されているもの。浮き消波堤(フロート)→連絡通路が無く、陸地からは渡船等で渡るもので、フロートの四隅は鎖等で海底に固定されているもの。四国宇和島方面に多数設置されているもので、改定後可能となるもので、釣りを目的にした専用筏→渡船にて釣りを楽しめる、簡素なロープ、アンカーにて海底に固定されている筏。もう一つは、釣り用筏→筏全体を有料で開放している筏。様々な筏があるが、一様に良い悪いを決めるのは非常に難しい問題だと思う。今後、皆さんが行かれた釣り場で、気になる場所があれば、意見をいただき連盟の方で協議していただく。

※ 9月集会 9月13日(木) 予定

以上